



採用後、数年を経験した先輩たちからの
思いを込めたメッセージです

学校現場で活躍する先輩たち

小学校教諭 井上 雄介 先生

「そういう考えもあるのか!」。子どもたちと学習をしていると、そんなことを思う日が多くあります。また、「勉強わかってきたよ!学校楽しい!」と言われたときの嬉しさは何物にも代えがたいものがあります。神奈川県は、鎌倉や湘南の海岸といった自然環境や文化財、都市部が共存した県ということもあり、小学校で行う生活科や社会科をはじめとした地域学習などの学習教材になるものが多いです。学習面では交換授業を取り入れるなどの機会が増えたため、学級担任一人で様々なことを抱え込むこともなくなってきました。また、校内研究では、学校全体で授業改善や新たな試みを考え、実行していくため、諸先輩方から多くのことを学ぶことができます。さらに神奈川県では、自己研鑽の研修の機会が多く用意されているため、自分が不安としている分野の知識や指導法を、働きながらも学ぶことができます。私は苦手な器械運動の研修に参加し、不安や悩みを減らすことができました。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

中学校教諭 柿 萌 先生

中学校教員の大変な仕事=部活動というイメージがあった一年目。バドミントン部の顧問になった当初は、自分が経験したことがない種目に戸惑うこともありましたが、子どもたちから学ぶことも多く、時には励ましてくれる姿に背中を押されました。職員室に戻れば先輩の先生方とその日の出来事を笑顔で振り返ったり、研修に行った際には同期の先生方と日々の喜びや悩みを分かち合ったりしました。子どもの成長や葛藤、中学生の幼さも大人っぽさも間近で感じられる教員の仕事に楽しさを見出すことができました。そのたびに新鮮な気持ちで中学生と一緒に成長しようと思えます。教員生活の中心には、常に子どもたちの存在があります。子どもたちと多くの時間を過ごす中で、子どもたちから学び、自分自身も成長できることが中学校教員という職業の魅力の一つだと感じています。

高等学校教諭 山崎 優佳里 先生

高等学校教員としての魅力は、授業や部活、学級運営、進路指導など様々な場面で生徒の成長を近くで支えることができることです。生徒が勉強や学校行事で努力している姿を見たとき、部活動の試合で目標としている結果が出たとき、希望の進路を実現できたときには、とても嬉しい気持ちになります。日々の学校生活の中で、生徒と多くの時間を共有しているからこそ、感動を分かち合うことができます。教員の仕事は、大変だなと感じることもありますが、そのようなときに、声をかけてくれる生徒もいます。そのような行動を目の当たりにすると、自分自身も、生徒のために一つでも還元できることを増やそうという気持ちになります。最後に、働いていく中で、周りの先生方にたくさん支えてもらいながら仕事できています。神奈川県には、いい仲間がたくさんいます。ぜひ、神奈川県と一緒に働きましょう。

特別支援学校教諭 渡辺 祐介 先生

神奈川県の特別支援学校教員の魅力は、多くの子どもたちや先生方と出会えることです。様々な背景や個性を持つ子どもたちと接する中で、教員自身も多くのことを学び、成長する機会を得ることができます。また、教員同士の連携も強みであり、先輩や同僚からの学びもたくさんあります。特別支援教育は、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導・支援が特徴です。子どもたちが自信を持ち、成長していく姿を見守ることができることは大きなやりがいです。私は現在進路支援担当の教員として、子どもたちが主体的によりよい進路選択ができるように努めています。これまで、子どもたちが成長していく姿を見て感動する場面が何度もありました。私自身「何事も楽しむ」を意識し、自分自身が楽しみながら働いています。そのポジティブな雰囲気は子どもたちにも伝わっていると思っています。大人が楽しく働く姿を見せることで、子どもたちも楽しく学校生活を送ることができると思います。

養護教諭 伊藤 心 先生

保健室にはケガや体調不良はもちろん、心の元気が足りずに休養しに来たり、感情が抑えきれず駆け込んで来たりと、様々な理由で多くの子どもたちが来室します。保健室が安心できる場所であるように、そして相談しやすい大人でいられるように保健室の環境整備や、日頃から子どもたちとのコミュニケーションを心がけています。対応をしていく中で、あの声掛けでよかったのかな、もっとこうしておけばよかったと悩むこと、葛藤することも多くありました。しかし「保健室の先生に相談してよかった」と子どもたちに言ってもらったときには、子どもたちの成長に関わることができた実感することができ、とても嬉しかったことを覚えています。はじめは、一人職という立場に不安がありましたが、困ったときには学校内の先生をはじめ、近隣校の養護教諭の先生方が助けてくれ、相談ののってくれる環境があるため安心して働くことができます。ぜひ神奈川県と一緒に子どもたちの成長を支えていきましょう!

栄養教諭 山崎 恵梨子 先生

「わあ、おいしそう!」、クラスの給食を取りにきた当番の子どもたちは、給食の内容が嬉しくて思わず笑みがこぼれます。私が喜びを感じる瞬間でもあります。栄養教諭の仕事には、「食に関する指導」と「学校給食の管理」があります。栄養バランスの取れた食事を提供することにより、給食を生きた教材として指導に活用しています。実際の授業では、「とうもろこしの皮むき」や「グリーンピースのさやむき」など、季節の食材を使って体験活動を行ったり、食べ物の体の中での働きや成長に必要な栄養について学んだりしています。子どもたちのいきいきとした表情や真剣な眼差しが嬉しくて、思わず私も笑みがこぼれます。自分たちが食べている給食を体験教材に使うことで、より興味を持ち、身近に感じられているようです。食は、生涯を通じて心身ともに大切なものです。小・中学校という、健康の土台を作っていく時期に、望ましい食習慣の形成を教職員、家庭や地域と共に築いているのだという使命感を持ち、日々仕事と向き合っています。

“ 自己研鑽の機会が多く、働きながら学べる ”



大磯町立大磯小学校
井上 雄介 先生

“ 子どもたちから学び、自分自身も成長できる ”



横須賀市立神明中学校
柿 萌 先生

“ 生徒の成長を近くで支えられる ”



神奈川県立横浜翠嵐高等学校
山崎 優佳里 先生

“ 多くの子どもたちや先生方と出会える ”



神奈川県立相模原中央支援学校
渡辺 祐介 先生

“ 一人職でも安心して働ける ”



大和市立福田小学校
伊藤 心 先生

“ 食は生涯を通じて大切なもの ”



鎌倉市立御成小学校
山崎 恵梨子 先生